

協定校での短期研修プログラム 2013
参加者アンケート

名古屋大学 国際教育交流センター海外留学部門

目 次

ガジヤマダ大学 (インドネシア 8/13-30)	1
国立中正大学 (台湾 7/30-8/13)	17
梨花女子大学 (韓国 8/6-22)	21
フライブルク大学 (ドイツ 8/5-30)	29
モナシュ大学・春 (オーストラリア 2/23-3/25)	35
モナシュ大学・夏 (オーストラリア 8/31-9/29)	45

ガジヤマダ大学

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文・人文学科・言語学専攻	学年	4
参加したプログラム名/協定校名	インドネシア・ガジャマダ大学短期研修 DREaM		
留学した期間	2013年 8月 18日 ~ 2013年 8月 31日		

1) 留学前の準備について教えてください。

海外留学室からのメルマガで研修を知りました。韓国での語学研修・文化体験のコースと迷いましたが、東南アジアの国に行きたかったこと、村でのコミュニティーサービスが出来ること、現地法人でインターンが出来ることが決め手となり参加を決めました。申し込み期限まで（6月？）に英語のエッセイを出さなくてははいけなかったので、計画的に申し込み準備をしました。語学対策は現地で英語が使えることもあり殆どしていません。インドネシア語の指先会話帳を買った程度です。

2) 研修内容や学校について教えてください。

二週間の短期集中のプログラムです。学校でのレクチャー、チュートリアル、現地でのインターンシップ、農村でのコミュニティーサービスという大きく分けて4つの構成です。レクチャーでは大学の教授や国連のインドネシア担当の方が講義をしてくださいます。今回の研修のテーマである Human Empowerment through Community Involvement という観点から、マイノリティーライト、ジェンダー、森林資源、災害リスクマネジメントの話をお聞きしました。その講義の内容はグループに分かれたチュートリアルで更に掘り下げていきます。インターンシップは事前に自分の興味があるテーマを選んでおき、それを基に現地法人で2日間の短期インターンに参加させてもらいました。私はジェンダーを選び、現地の女性支援センターでカウンセラーの方からインドネシアでの女性の地位や生活、また暴力や虐待の現状などのお話を聞き、また日本での現状をシェアしました。コミュニティーサービスでは、農村に3～4日間ほどホームステイし、その小学校で今までレクチャーやインターンで学んできたことを子供に教えるという体験をしました。子供たちに伝えるように自分たちで授業をつくるのは大変でしたがやりがいがありました。世界中から学生が集まってきており、また同じ関心事を持った人ばかりなので友達はつくりやすいと思います。インドネシアの学生が中心となって企画してくれているプログラムであり、皆積極的に関わってきてくれてとても楽しかったです。

3) 生活や費用面について教えてください。

日本人の殆どの学生が最初の数日でお腹をこわしたり体調不良を訴えていましたが、こればかりは気候の差や食べ物への不慣れなどがあるため、慣れるしかないと思います。ただ、教室と屋外では寒暖差がかなりある(エアコンがきつい)ため、カーディガンなど温度調節ができる服を持っていった方が良いと思います。あと屋台で食べ物を買うのは遠慮する、など。ご飯は基本的に三食運営側が提供してくれます。住環境は、基本は学校が借りてくれたホテルに滞在しており(ルームメイトと二人一部屋)、農村では村の家族の家にホームステイとなります。村にはタオルや洗面用具など一式持っていくことになります。現地は物価が低いので、かさばるようだったら向こうで買った方がお得かもしれません。服装は、華美でないもの、あまり露出の多くないもの。ただ外国人にはかなりゆるいようです。マナーとしては、イスラム教圏であるため、イスラム教で御法度とされていることはしないように。ただものすごく厳しいわけではないので、分からなかったら確認をとれば色々教えてくれると思います。

費用計：約 16万 円

(内訳：航空券 8万円、保険料 4000 円、授業料 6万円 (寮費・食費含む)、交際費 1万円 弱・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

2週間という短い期間でしたが、ものすごく濃いプログラムだったと思います。現地の学生スタッフが本当に親身になって動いてくれていたので、まったく不都合なく日々を過ごすことが出来ました。世界各国から参加している学生とは、文化交流会や日々のプログラムを通じて仲を深めました。様々なことに挑戦するチャンスがあり(インターンやコミュニティーサービスなど)、自分の成長を肌で感じられると思います。文化体験や語学研修などに比べて、自分から発信する機会が多いので、受け身の研修は物足りないと思っている方には是非おすすめの研修です。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

インドネシアの学生スタッフと仲良くなると、市内を案内してくれたりするので早めに仲良くなった方が良いと思います。タクシーなど乗るときもインドネシア語を話せる友達がいればがばったくられる心配もなく安心です。お酒を飲む文化はありませんが、コンビニなどに割と普通においてあります(観光客用なのだと思います)。買い物はマリオボロストリートが有名で、民族衣装やお土産を買うことが出来ます。



参加者全員の記念撮影（日本、インドネシア、ブルネイ、オランダ、オーストラリア、アルゼンチン、ドイツ、韓国、中国）



学校でのコミュニティーサービス



文化交流会



ホームステイの家族

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	経済学部 経営学科	学年	4年
参加したプログラム名/協定校名	DREaM2013		
留学した期間	2013年 08月 17日 ~ 2013年 08月 30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

研修を知った理由は、台湾に交換留学をしていたときに、交換留学終了後の夏休みに何かをどこかでやりたいと思っており、なおかつ英語を使って何かをしたいという願望があったため、留学生センターのホームページで探したところを見つけました。最初にプログラムを探し始めたのは、3月頃で、実際にエッセイなど申込に必要なことをやり始めたのは5月からくらいだと思います。申込手続きとしては、メールで必要な書類（申込書、エッセイ、英語試験（TOEIC, TOEFL など）の点数証明）を送ることから始まり、その後海外送金をして完了です。

2013年度のDREaMプログラムのHPです。

<http://oia.ugm.ac.id/dream/index.html>

これを見て自分で進めていくことになります。

2) 研修内容や学校について教えてください。

プログラムの今年のテーマは“Human Empowerment through Community Involvement”だったので、これに関する講義（2日間）から始まり、NGOインターンシップ（2日間）、最後の村でのコミュニティーサービス（3日間）に向けて何をするか考え、計画して実行に移していくという流れでした。研修の間にはインドネシアの観光も含まれており、とても充実した内容になっていました。

正直、講義の時の英語は、先生にもよるのですがインドネシアの訛りが強く、わたしの英語力では聞きとりづらい部分があったのですが、学生のしゃべる英語は訛りがなくとても上手なので、問題なく聞き取れると思います。

また、スタッフとしてこのイベントを企画・運営してくれているインドネシアの学生はとても優しく、参加者も良い人たちばかりで、空いた時間にはみんなで買い物に行ったり、カラオケに行ったりもしました。部屋は2人部屋だったので、ルームメイトが2週間できます！とってもいい経験でした。

3) 生活や費用面について教えてください。

食事はとてもおいしいです!!! しかし、辛い食べ物がたくさんあるので、辛いものが苦手な人は気をつけてください。でも実際、わたしも辛いものは苦手ですが辛くなくておいしいものもたくさんあるので大丈夫です!

村にコミュニティーサービスに行く時に、ホームステイだったのですがお風呂があまりよくないです。シャワーがなくて、水しかできませんが、意外といけます!!!というより普通にいけます!!!わたしはこの村での生活が一番楽しかったのです。ただ覚悟はしてくださいね!笑

胃薬など、常備薬は持って行った方が無難だと思います。

費用計: 約 16万 円

(内訳: 航空券 8万円、保険料 6,000円、授業料 13,000円、寮費 45,000円、食費、交際費、お土産 15,000円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

私が一番印象に残ったことはやはり村でのコミュニティーサービスです。普段できない経験ができ、村の人たちの優しさをすごく感じた3日間でした。もちろん英語を使って何かを計画しやり遂げるといふ達成感だったり、自分の英語力の未熟さを感じたりと、英語に関する部分ではこれからの刺激になる部分がたくさんありましたが、村に行ったら村の人とのコミュニケーションにおいて英語がほとんど通じません。言語じゃなくて、言語がなくてもコミュニケーションをとれるという、非言語圏ならではの特別な、とってもおもしろい経験ができると思います。“”ご飯食べていい?””って聞けなくても、“ご飯、ご飯。食べる、食べる。”とジェスチャーでなんとか向こうの人と通じるのです。とりあえず行ってみてください、体験してみてください。そして何より、いろんな国の友達ができます、いろんな考え方に触れることができます。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

現地の有名所は、研修中に連れて行ってもらえます。このプログラムはジョグジャカルタで行われるのですが、そこには“ボロブドゥール寺院”と“プランバナン遺跡”という世界遺産が2つあります。2つの世界遺産を見ることができます。食べ物は、サテ・アヤムとアボカドジュースがおすすめです!!食べてみてください!!

ルームメイトに浴衣を着せてあげました。



とても喜んでくれました！

お勧めのアボカドジュースです！



各国ごとに出し物をします

コミュニティーサービスで村に行った時
学校に行って授業をしたクラスです！



短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	経済学部	学年	2年
参加したプログラム名/協定校名	DREaM プログラム/ガジャマダ大学		
留学した期間	2013年 8月 18日 ~ 2013年 8月 30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

- ・留学生相談室の先生からすすめられて知った。
- ・準備は事前にエッセイの提出があったので数か月前からこのプログラムのテーマとなる問題に関しては調べていた。
- ・インドネシア語は簡単なあいさつ程度は覚えておいた。
- ・申込手続きが少しわかりにくかったが、アドバイザーの方が親切にメールでの対応をしてくれた。

2) 研修内容や学校について教えてください。

- ・最初の2, 3日は午前中がテーマに関する専門家の方からの lecture と午後がそれに関するディスカッションで少しハード。その後グループごとに分かれてインターンシップ先へ訪問。そして village へ2泊3日ホームステイを兼ねた学校でのボランティア活動。今まで学んだことをいかにわかりやすく子供たちに伝えるか、企画から全て皆で相談。学校ないだけはほぼ全てインドネシア語が用いられていたが、インドネシアからの参加者や主催者の助けを借りてなんとか感じた。
- ・多国籍な仲間と本当に親しくなれる点においてとても貴重な経験だった。
- ・ただ、どの学生もレベルが非常に高い！東大を超える大学出身者がザラでその積極性、アイデアの豊富さ、思考レベルの高さには正直ついていけず感心するばかりだった。

3) 生活や費用面について教えてください。

- ・大学内、ホテルに関しては普通にきれい。ホテルのシャワーのお湯が出なかったり、Wifi は使用範囲がホテルの一部に限られているなど不便なところもあったが、コミュニティの方々は本当に親切で朝早くから夜遅くまでサポート体制は充実している。
- ・食事は基本的には美味しいが脂っこいものが多い。朝はビュッフェスタイル。手で食べるときは必ず手を洗ってから！（←複数人お腹をこわしていた！）
- ・village での生活は正直ハード。トイレはあまり衛生的な印象はなくシャワーは水桶から水をぶっかけるスタイル。ダニ・蚊が多いので虫よけ必須。薄手の長袖・長ズボン・ロングスカートがおすすめ。
- ・物価は非常に安い！マーケットでの買い物や食事代・タクシー代の割り勘が多いのでクレジットやドルより

現地の通貨を用意したほうが良い。

費用計：約 25万 円

(内訳:航空券 16万 円、保険料 2万 円、授業料、寮費 5万 円、食費 5千 円、交際費 2万 円…)

- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
- ・プログラム内容は深く考えさせられるものが多く、インドネシアを中心とした現状問題を主に取り扱った。Activity においてもインドネシアの伝統舞踊・工芸が中心で非常に満足できるスケジュールだと思う。
 - ・正直、衛生面に敏感な方にはあまりお勧めしないが、逆にこういった不慣れな環境での生活を経験できることもなかなかないし、行ったら行ったで慣れてしまう部分もある。
 - ・初めての海外留学だと英語面が少しハードかもしれない。インドネシアの訛りがあるし、ハイレベルだし、ルームシェアも大抵他国の学生となので。
 - ・でもこういった難点ほ考慮しても、心からまた行きたいと思うくらい、参加者同士の深い絆が生まれる!!!ずっと一緒にいるし、villageでの苦難を一緒に乗り越える過程で、たった2週間とは思えないほどの濃い友情を築くことができる!!!

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

- ・私のルームメイトはブルネイ人だった。最初はブルネイってどこ?レベルだったが、仲良くなってたくさん話を聞いているうちに、今では本当にブルネイ行きたい♪レベルに (笑)
- ・欲を言えば事前にもう少し詳細の情報が欲しかった。

以上

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	経済学部経営学科	学年	3年
参加したプログラム名/協定校名	DREaM2013/ガジヤマダ大学		
留学した期間	2013年8月17日 ~ 2013年9月30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

夏休み、どこか海外に行きたいなとずっと考えていた。以前別のプログラムに参加したこともあり、海外留学室のHPで探していたところ、プログラムの内容と費用の面でもっとも惹かれたプログラムがDREaM2013だった。語学の対策などはそれほどせず、航空券の手配や提出書類の準備を行った。

2) 研修内容や学校について教えてください。

研修内容は、講義やグループワーク、NGOの見学、村での生活、小学校訪問、観光など多岐にわたった。学生は、インドネシアやブルネイ、オーストラリアやヨーロッパなどから参加していた。国ごとに固まる場面もあれば、国に関わらず交流する機会もあった。

3) 生活や費用面について教えてください。

食事はどれも日本人の口に合う。衛生面は、それほど心配する必要はないが、ある程度の自己管理は必要。村で生活をする際にはシャワー、お湯が使えない。ただし、寝袋は必要なかった。気温は、朝晩で気温差がある。持参してよかったものは、ウェットティッシュと虫除けミスト。飲み水も現地で安く売っているので日本から持参する必要はない。

費用計：約 230,000 円
 (内訳：航空券 12,000 円、保険料 0 円、授業料 60,000 円、寮費 円、食費 15,000 円、交際費 10,000 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

やはり参加してみることが一番。言語の面で、海外の学生となじむことができるか不安でしたが、様々なプログラムを共に体験していくうちに、自然に親しくなっていくことができるということを実感しました。参加したことを後悔することは絶対にはないと思います。とても充実したプログラムだったのでたくさんの学生の方が参加することをおすすめします。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	理学部生命理学科	学年	2
参加したプログラム名/協定校名	DREaM/ガジャマダ大学		
留学した期間	2013年08月18日 ~ 2013年08月31日		

1) 留学前の準備について教えてください。

留学室に相談しに行ったときに話を聞きました。

英語の日常会話と今回のテーマを中心に語学対策をし、実際準備を始めたのは夏休みに入ってからです。

航空券は6月の下旬に購入しました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

二日にわたって公開授業を受け、その後勉強した内容について英語でディスカッション。また村にホームステイし、自分たちで準備したゲームや活動を通して子供たちと一緒に人権問題について考えたりした。

3) 生活や費用面について教えてください。

防寒具

費用計：約 16万 円

(内訳：航空券 8.5万 円、保険料 5千 円、授業料 5万 円、寮費 0 円、食費 5千 円、交際費 5千 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

世界各国からやってきた人にたくさん出会えて、いろんな話が聞けて視野が広がった。英語力のなさを思い知らされて悔しかったが、恐れずに話しかけ続けてとても良い経験になった。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。



短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部	学年	3
参加したプログラム名/協定校名	DREaM2013/ガジヤマダ大学		
留学した期間	2013年 8月 15日 ~ 2013年 8月 30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

研修は留学生センターの web サイトを通じて知りました。元々、編入学したときから探していたので見つけることができました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

研修内容については DREaM2013 の web サイトに詳しく載っているので、そちらをみてください。

3) 生活や費用面について教えてください。

- ・ インドネシアは物価の安い国です。
- ・ 全行程, LCC で行きました。
- ・ 業関係はできるだけもっていると、役に立ちます。普段はならないのに、緊張のせいかな（割とリラックスしていたのですが...）急に口内炎になりました..
- ・ インドネシアには、普通にショッピングモールとかあります。
- ・ 気候は日本よりほんの少し涼しいです。乾季の始まりでした。

費用計：約 16万 円
 （内訳：航空券 8万 円、保険料 3千 円、授業料 \$575 円、寮費 0 円、食費 3千? 円、・・・）

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

今回のサマープログラムを通して思い知ったのは、予想していた通り、自分の発言力のなさや英語力不足です。後者はある意味でアジアの学生に劣る部分はあっても仕方ないと思いました。しかし、行動力、発言力という面では、自分のポテンシャルを發揮せぬまま、他国の学生に圧倒される部分が多々ありました。本当にいい意味で刺激を受けました。限りある大学生活のなかで、なにが課題でなにを身につけなければならないのか、思い知った気がします。

このプログラムは多くの日本人以外は、何らかの選考を経て参加しています。従って、それなりの知識と経験を持ち合わせたメンバーが中心でした。このことを考えると、世界でも非常に優れた学生と2週間に渡って過ごし、互いに意見を交わしたことは、とても貴重な体験であると痛感しました。同時に、アジアを中心とした様々な国に友達ができたことも大きな収穫です。彼らとはいつまでも連絡を絶やすことなく、関わっていきたいと考えています。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

おりがみができなかったので、日本人らしくもっと知っておこうと思いました..

日本人的な何かを身につけておくほうが、いいと思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部 機械航空工学科	学年	1年
参加したプログラム名/協定校名	DREaM 2013		
留学した期間	2013年 8月 17日 ~ 2013年 8月 30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

留学生センターからのメールで知りました。

海外送金で問題が発生しましたが、頑張って対応しました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

内容：大学での講義、インターンシップ、農村地区へのホームステイ、観光、文化体験

3) 生活や費用面について教えてください。

食生活、健康管理：辛い物が多い、お米は毎日食べられる、水道水を飲まない 腹痛や風邪を引いた人がいたので、安心できる日本の薬を一式持って行きましょう。寝袋はあってもなくてもよいですが、朝晩は冷えるので気をつけましょう。

服装：室内はクーラーが効いているので上に着るものを持参する、7～8月は日本より過ごしやすい

持参してよかったもの：虫よけスプレー、日本のお土産（お菓子など）、

費用計：約 18万 円

(内訳：航空券 10万 円、保険料 5千 円、授業料 \$575、寮費 円、食費 円、交際費 1万 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

世界の学生と交流できたことは非常によい経験になりました。

基本的に英語ができる前提なので、英語力を向上させるためにはあまり向いていません。

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

このプログラムが短期留学の準備に直結しているかは分かりませんが、多くの出会いと様々な経験を通じて学べることは沢山あると思います。自分の英語力の無さを痛感することもいい刺激になると思います。ただ、日本人参加者が多いので、固まらないように気をつけましょう。内容盛りだくさんのプログラムなので体調管理に十分注意して楽しんで下さい。

国立中正大学

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	生命農学研究科	学年	修士1
参加したプログラム名/協定校名	中正大学		
留学した期間	2013年 7月30日 ~ 2013年8 月13 日		

1) 留学前の準備について教えてください。

中正大学の友人の薦めで申し込みました。ラジオで中国語を勉強しました。手続きはインターネットで簡単に済み、ビザもいりませんでした。

2) 研修内容や学校について教えてください。

中国語（初級のみ）もありましたが、私は英語で国際関係などの授業をとりました。またフィールドトリップも充実しており、簡単に友人ができました。

3) 生活や費用面について教えてください。

食事は安くておいしいですが、胃腸薬はあるといいかもしれません。またベット、枕は寮にないので買わなくてはなりません。日差しも強いので日焼け止めや帽子が必要です。

費用計：約 8万 円

(内訳：航空券 4万 円、保険料 8千円 円、授業料 0 円、寮費 8千 円、食費 2万 円、交際費 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

参加して本当によかったです。

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

食事が安くてよかったです。参加者は台湾人、中国人ばかりなので中国語ができると、多くの友達ができると思います。ぜひ、中国語を勉強してから行ってください。

梨花女子大学

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	教育学部	学年	1年
参加したプログラム名/協定校名	梨花女子大 international summer college session II		
留学した期間	2013年 8月 6日 ~ 2013年 8月 22日		

1) 留学前の準備について教えてください。

この短期留学は海外留学室のパンフレットを見て、知った。このプログラムは申し込みを全て自分で行わないといけなかったので、できているか心配だった。定期テスト期間終わってすぐの出発だったので、最終レポートを早めに終わらせ、出発の2週間前以降は留学に専念できるようにした。ここで頑張ったことで、準備も余裕でできて、語学対策にも専念できた。語学対策はとことん listening をした。

2) 研修内容や学校について教えてください。

日本からの学生が多く、半分以上は日本人といっても過言ではなかった。また、やはり皆同じ母国語同士で一緒に過ごしていることが多く、国籍でのまとまるが多かった。授業は丁寧に韓国語を教えてくれ、午後の special 講義は韓国についていろんなトピックを教えてくれて面白かった。毎日ある校外学習的な trip (ソウルの有名なスポットへ連れて行ってくれる) 韓国旅行も同時に楽しめてしまい、また学校自体が、ソウルでめいいっぱい遊びなさいと推していたので、皆毎日遊んでいた。

3) 生活や費用面について教えてください。

ご飯は毎食自分で用意だったので、外食続きだった。ご飯は辛いものが多いので、少し大変だったけど少し経てば、慣れる。寮がとてもきれいだったので快適。ソウルは夜遅くまでにぎわっているので、夜更かししがち。(外国の生徒で夜中まで遊んでいた人もいた。) ソウルの街は観光向けになっているので安心。事故にあって、おなかを壊したこともなかった。地下鉄で移動なのだが、交通費に意外とお金を使う。

費用計: 約 19万 円

(内訳: 航空券 3万円、保険料 4千円、授業料 円、寮費 6万円、食費 3万円、交際費 2万円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

とにかく終わった瞬間は楽しかったということとちょっと英語が喋れたら、もっと外国の人と喋れたらとなった。楽しかったけど、リベンジしたいというような…。でも、日本に帰ってきたらやることだらけの日々に追われ、せっかく留学で得れた楽し

さや悔しさが薄れてきちゃうので、すぐにでも悔しさを行動に移すべきだと思った。短期留学は軽い気持ちでいけるので、今年の長期休暇やることないなと思ったら一回行ってみるのもありだと思う。それと、2週間いったところで語学力はほとんど上がらない…。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	研究科	学年	M1
参加したプログラム名/協定校名	梨花女子大学		
留学した期間	2013年8月7日 ~ 2013年8月21日		

1) 留学前の準備について教えてください。

海外留学室のHPで研修プログラムを知りました。

名古屋大学内の申し込みは5月頃、梨花女子大学への申し込みは7月上旬だったと思います。

語学対策としては、試験終了後、留学までの準備期間があまりなかったため、単語を少し勉強した程度です。

2) 研修内容や学校について教えてください。

午前中が韓国語の授業、午後が体験プログラムでした。韓国語のクラスは、最初に行われるテストに基づいて決定されます。授業内容が難しすぎる、簡単すぎるという場合は、先生に相談して変更できました。授業はすべて韓国語で行われました。

3) 生活や費用面について教えてください。

食事は、主に大学内、大学周辺で取りました。

寮は一人部屋と二人部屋がありましたが、私は一人部屋にしました。一人部屋はシャワーとトイレがついていますが、二人部屋にはないので、不便かと思います。部屋は広く、きれいでした。

パソコンは寮にあります。持って行った方が便利かと思います。部屋に有線があります。

服装は、日本と同じで問題ないと思います。

費用計：約 _____ 円

(内訳：航空券 _____ 円、保険料 _____ 円、授業料 _____ 円、寮費 _____ 円、食費 _____ 円、交際費 _____ 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

例：印象に残ったこと、参加して良かったことや残念だったこと、留学前後の気持ちの変化など

2週間という短い期間ですが、しっかりとしたプログラムが組まれているので、充実した留学生活を送ることができました。異文化に触れる良い機会になると思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	教育学部人間発達学科	学年	2年
参加したプログラム名／協定校名	梨花女子大学 Summer Session II		
留学した期間	2013年 8月 7日 ~2013年 8月 22日		

1) 留学前の準備について教えてください。

サークルの先輩に聞いてこのプログラムを知りました。第2言語で韓国語をとっている
ので特に準備はしませんでした。

2) 研修内容や学校について教えてください。

午前中は韓国語の授業、午後は文化の授業でした。一人ひとりにバディーが付いていて
現地の学生とも交流できてよかったです。

3) 生活や費用面について教えてください。

費用計：約 18万 円
 (内訳：航空券 3万 円、保険料 2万 円、授業料 0円、寮費 6万 円、食費 5万 円、交際費
 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

留学はまず行ってみるのが大事だと思いました。一人で海外に行くことは不安だし、
最初の何日かは少し辛いとおもうかもしれませんが最後には絶対楽しかったと思える
と思います！！

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

このプログラムは Field Trip もたくさんあり、観光も思う存分できます！！

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	国際言語文化研究科	学年	M1
参加したプログラム名/協定校名	韓国梨花女子大学夏季語学プログラム		
留学した期間	2013年8月6日 ~ 2013年8月22日		

1) 留学前の準備について教えてください。

パソコンを持っていくほうがいいと思います。寮には専用のパソコン室もあるけど、機器がそんなに多くなくて、使う学生が多いと待たされる可能性がある。部屋にはパソコンがあればすぐインターネットに接続できるようになっているので、親や学校との連絡のとき使えると思います。洗剤も二週間分を持っていくほうがいいと思います。二週間だけなので、向こうで買うと、帰るとき使い切れなくて、捨てるしかなく、ちょっともったいないです。

2) 研修内容や学校について教えてください。

韓国語の授業はとってもよかったです。向こうの学校の自分の教材があって、先生も留学生むけ韓国語授業の経験者なので、間違いやすいところとか親切に教えてくれました。文化の授業も韓国語の歴史や韓国の歴史、近現代文化など様々な知識を勉強できました。

3) 生活や費用面について教えてください。

服は五日間分持っていけば足りると思います。コインランドリと乾燥機を使うので、自分の分だけまとめ洗濯するか、一緒に行く人と一緒に使うほうが経済的だと思います。

費用計：約 <u> 10万 </u> 円
(内訳：航空券 <u>2万6千</u> 円、保険料 <u>0</u> 円、授業料 <u>0</u> 円、寮費 <u>4万</u> 円、食費 <u>3万</u> 円、交際費 <u> </u> 円…)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

韓国語の勉強もできて、たくさんの友達ができました。向こうの学校の先生達と事務員達がとっても親切で、優しいです。このプログラムに参加できて本当によかったと思います。

フライブルク大学

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部フランス文学専攻	学年	学部 2 年
参加したプログラム名／協定校名	フライブルク大学サマーコース		
留学した期間	2013 年 8 月 6 日 ~ 2013 年 8 月 29 日		

1) 留学前の準備について教えてください。

いつかこの研修に参加したいと思っていたが、あまり具体的に考えていなかった。夏の研修は春よりも割安だと知ってから、急にモチベーションが上がり、参加を決めた。すぐに海外留学入門セミナーに参加し、わからないことを相談した。海外は初めてだったので、3 か月前からパスポート、航空券などの準備を始めた。

2) 研修内容や学校について教えてください。

午前中は細かくレベル分けされたクラスで授業があり、午後は自由参加のゼミや講義があった。国際クラスは 10 人前後で、講師の教授法もすばらしく、真剣であるが明るく活発な雰囲気の中で学ぶことができた。授業以外でも、現地の学生やスタッフが企画したイベントや遠足が毎日あり、クラス外の学生と交流もできた。また、日本人スタッフも駐在しているので、わからないことはすぐに聞いた。

3) 生活や費用面について教えてください。

食事は安くおいしい。8 月でも朝晩は冷え込むので上着は必要。ドイツの電車は遅れたり、ホームが変更になったり、連休になるのが当たり前なので気を付けた方がよい。

費用計：約 35 万 円

(内訳：航空券 16 万円、保険料 2 万円、授業料 7 万 5 千円、寮費 3 万 5 千円、食費 4 万円、交際費 2 万円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

最初は「1 か月で留学の成果はあるのだろうか？」と思っていましたが、1 か月でも留学した意義があると感じました。それまでは机上の言語であったドイツ語が、「第 2 外国語」という抵抗がなくなり、生きた言語としてとても身近なものに感じられるようになりました。また、クラスでは同じようなレベルの学生とドイツ語で会話するので、お互い気楽に話せ、ドイツ語のコミュニケーション力が格段に上がったと思います。現地で知り合った友達とは、帰国後もメールやスカイプで交流を続けています。良い友達ができ、かつドイツ語の練習も続けられるというのは留学の最大のメリットだと思います！

裏面有

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

ドイツの電車やバスのドアは自分で開けるので慣れないうちは変な感じがします。フライブルクには路面電車があり、これでどこでも行けます。中心街には乗用車が入ってはいけないという法律があるので、一番賑やかなところでも、排気ガスや車の音などがまったくなく、ストリートミュージシャンの演奏やカフェで談笑する声が聞こえてくる、明るく穏やかな街です。街の人や店員さんはとても親切で、よく話しかけてくれるのでドイツ語力もアップします。料理はおいしい、治安も良く、8月でも涼しいという快適な1か月が過ごせました。また、フランスやスイスに近いので、週末に旅行もできます。電車の切符は早く買うととても安くなるので、早めに調べておくといいと思います。日常生活は簡単なドイツ語のみで事足りましたが、やはり難しい話になると英語が必要になってくるので、もっと英語を勉強していればなあと思うこともありました。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部・電気電子情報工学科	学年	4年
参加したプログラム名/協定校名	インターナショナルサマーコース（ドイツ語）/フライブルク大学		
留学した期間	2013年8月5日 ~ 2013年8月24日		

1) 留学前の準備について教えてください。

4か月ほど前から留学生センターで相談。1か月ほど前から語学の勉強。

2) 研修内容や学校について教えてください。

午前中に3時間ドイツ語の勉強。午後は自由時間で自主学習も可能。現地の学生が色々なイベントを用意してくれた。

3) 生活や費用面について教えてください。

寮生活で、食事は自炊と既製品を買って済ませることが半々くらい。たまに外食。食材は安い。治安はかなり良い。

費用計：約 17万5千円

(内訳：航空券6万5千円(マイレージ利用)、授業料5万円、寮費3万円、食費2万円、遠足等1万円)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

院試の関係で通常より早く帰らなければならず残念だった。現地の色々な国からの留学生と交流できてよかった。海外インターンシップに行きたいという気持ちが強まった。

以上

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	農学部	学年	2
参加したプログラム名／協定校名	インターナショナルサマーコース フライブルク短期留学		
留学した期間	2013年 8月 5日 ~ 2013年 8月 30日		

1) 留学前の準備について教えてください。

言語の講義の教授からこの研修を紹介して頂きました。準備は、少しずつ進めていきましたが、完成したのは1週間前くらいでした。語学対策には、単位補充の講義を受け、申し込みは教授の力も借りつつ自分で行いました。海外留学室は、あまり利用することがありませんでした。

2) 研修内容や学校について教えてください。

日本人15人程度で、英語とドイツ語を話せる先生が講義を行いました。

3) 生活や費用面について教えてください。

寮生活で、大学まではトラムと呼ばれる路面電車で通いました。朝や雨上がりの冷え込みが厳しく、上着が必須です。

費用計：約 1,000,000 円

(内訳：航空券 184,850 円、保険料 17,880 円、授業料 75,400 円、寮費 39,000 円、食費 90,000 円、交際費 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

出発前の準備はかなり大変でした。基本的な手続きをドイツ語でやらなくてはならなかったし、銀行振り込みなど慣れていないことも多かったので、その段階ごとに時間を要しました。日本でも講義をたくさん取るのなら、忙しくなることを覚悟しておいた方が良いと思います。

また、到着直後も分からないことが多かったです。質問を受け付けるオフィスも、特に最初は混雑している上に開いてる時間が短いため、そう何度も質問できないです。でも1、2週間くらい経つと慣れてきて、レストランでの食事や市内散策などを試す余裕が出来ました。

モナシユ大学・春

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部	学年	2年
参加したプログラム名／協定校名	モナシュ大学春期語学研修 2013		
留学した期間	2013年 2月23日 ~ 3月25日 (約1ヶ月)		

1) 留学前の準備について教えてください。

研修を知ったきっかけは先輩からのお話や留学オフィスの掲示で知りました。準備する衣服や持って行った方が便利なものなどについては、オリエンテーション時に先輩方に質問したりガイドブックやネットで調べたりしました。留学前の準備の中でも海外用の携帯電話については日本で申し込む場合、締め切り期限があったので早めに決めておく必要がありました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

授業は平日の午前中（8：30～10：30、10：45～12：45）に行われ、午後は様々なオリエンテーションがありました。授業はモナシュ大学の先生一人に対し、日本人学生15人程のクラスで、オーストラリアの多民族国家に対する異文化理解を中心としたテーマを取り上げ、クラス全員でディスカッションをしたり、パワーポイントを作成し発表したりしました。私たちは本キャンパスから少し離れた語学研修者のための建物に通っていましたが、昼食やオリエンテーションなどで本キャンパスに行くことがしばしばあったので、ショッピングに行ったり食堂に寄ったりして現地の学生と同じ空間を味わうことができました。また、クラブやサークルもたくさんあって、自分から興味のある所へ積極的に足を運ぶことで現地の学生との交流が図れます。

3) 生活や費用面について教えてください。

食生活に関しては、朝はトーストかシリアル、昼はサンドウィッチとフルーツというのがほとんどでした。飽きてしまったら変えて欲しいと自分から意見を言った方が良いです。

習慣の違いとしてオーストラリアの人は就寝時間が早いです。そのため、夜の住宅街は街灯があってもとても暗いので遅い時間に一人で外出するのは避けた方がよいと思います。

ノートパソコンは持って行くことをお勧めします。大学のパソコンも使えますが、家でエッセイやプレゼンを作成するのにとても役に立ちました。また、私は日本で海外用の携帯電話を借りていきましたが、ホストファミリーと簡単に連絡が取れたのでとても便利でした。

現地の夏から秋への変わり目は昼と夜の寒暖の差が激しかったので、長そでのシャツや上着は持って行った方がよいと思います。

費用面に関しては、私は日本の空港で現金を8万くらい両替していきました。Cityに行けば両替所がたくさんあるので現地でもお金を両替することは可能です。

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

モナシュ大学短期語学研修を終えてみて、本当に楽しかったし、何より英語学習へのモチベーションがより高まったので参加して良かったです。研修を通して、積極性の大切さを学びました。日本人同士のクラスでどれだけ多く英語で発言できるか、モナシュ大学の学生とどれだけ多く交流することができるか、といったことに関して積極的に行動し、挑戦することがとても重要だと思います。

実際に英語を話す環境に行き、ホームステイをしてみて、いかに自分の英語での表現力が乏しいかを思い知らされました。しかし、それでも話して伝えなければならなかった分、会話がスムーズにいったときはとても嬉しかったのを覚えています。最初は不安に思っていた 1 ヶ月も、あっという間に過ぎてしまい、もう少し滞在したいと思える程でした。留学前は英語を使うということが留学の主な目的でしたが、実際に海外の大学を訪れたことで現地の学生と同じように授業を受けてみたいと思いました。そこで、次のステップは何かと考えたとき、交換留学という目標を見つけ、挑戦しようと思いました。

海外に行って自国とは違う点に気づくだけでも異文化を感じることができます。また、そのことによって、その国の見方が変わったり自分の視野を広げたりすることができ、普段の日本での生活を客観視する良い機会です。留学は学生のうちにしかできないことの一つであると思うのでぜひ迷っている人には行ってほしいと思います。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

通学のバスに関して、苦労したことがありました。主に帰りの話ですが、私の利用していたバスは日本のように、次のバス停が表示されなかったため、自分でボタンを押して降りる合図をしなければなりません。最初は家の付近の景色がわからず、ボタンを押すタイミングがさっぱり分かりませんでした。自信が無かったため、運転手にここで停まってほしいと乗車時をお願いしていました。ある日、思い切って自分でボタンを押してみたらタイミングを間違えてしまい、一個前のバス停で停まってしまったので、とても焦ったのを覚えています。でも一回間違えたおかげで、それからは間違えずにボタンを押して降車できるようになりました。どんな時もバスの運転手の方々はとても親切だったので、迷ったらすぐに聞くべきです。

Cityでの観光をするとき、トラムが便利です。あと、観光と合わせてビーチはおすすめです。オーストラリアの海はとても綺麗でゆったりとした時間が流れていました。

私は留学中に誕生日を迎えたのですが、当日は休日でホストファミリーが教会に連れて行ってくれました。お祈りが終わった後、その月に誕生日の人を祝う場があり、教会に来ていた方が全員で歌を歌ってくださいました。また、神父さんとお話してきたことはとても貴重な体験でした。そしてホストファミリーがケーキを買ってきてくれてお祝いしてくれたことがとても嬉しくて素敵な誕生日の思い出となりました。

ホストファミリーと



モナシュ大学の学生と



以上

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部機械航空工学科	学年	3
参加したプログラム名／協定校名	モナシュ大学春期語学研修 2013		
留学した期間	2013年 2月23日 ~ 3月25日 (約1ヶ月)		

- 1) 留学前の準備について教えてください。
漠然と留学に行きたいなあと思っていた私ですが、同じ学科の先輩が行ったという話を聞いて身近な話に思え、留学を決意しました。
- 2) 研修内容や学校について教えてください。
授業はすべて英語で、ディベートやスピーチなどもありましたが、生徒はすべて日本人だったので不安はありませんでした。現地の友達とはサークルやクラブなどに積極的に参加することで仲良くなることができました。
- 3) 生活や費用面について教えてください。
意外と物価が高かったので想像以上に費用がかかりました。いろんな人にお世話になるので、余分にこまごまとしたお土産物を持っていきました。おかげで仲良くなった現地の友達ひとりひとりに最後にプレゼントできたので、私は持って行ってよかったなと思いました。あと、携帯電話も日本で現地のを借りて行ってからのほうが面倒もなくスムーズでした。Wi-Fi がつながるところに限られているため(ホームステイ先の Wi-Fi を使わせてもらうためにお金を払う家庭がほとんどでした)、現地の携帯を持っているととても便利でした。
- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
他の日本の大学からの参加者と一緒に勉強するプログラムだったので、日本人の友達もたくさん増えて不安もあまり感じることなく楽しかったのですが、積極的に動かなければその分だけ英語を話す機会も減ってしまいます。自分の目的意識を忘れずに、留学を楽しんでください。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。
毎日大学のどこかで BBQ をしているので、頑張って参加しに行くとおいしいものも食べれるし(笑)、現地の大学生に話しかけやすいので簡単に友達になれると思います。私もそこで仲良くなった友達といろんなところに連れて行ってもらったりしました。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部英語学専攻	学年	2
参加したプログラム名/協定校名	モナシュ大学春期語学研修 2013		
留学した期間	2013年 2月23日 ~ 3月25日 (約1ヶ月)		

- 1) 留学前の準備について教えてください。
 留学生センターから送られてくるメールで研修を知った。
 パスポートの手続きなどに漏れがないことを心がけた。

- 2) 研修内容や学校について教えてください。
 午前中に3時間強の授業がある。授業とは言っても固いものではない。
 1か月という短期間の研修なので、英語の上達は本人が積極的かどうかによる。

- 3) 生活や費用面について教えてください。
 ホームステイ先によって食事の内容が大きく変化することがある。自分の場合は東南アジア系の家族だったため、食に困ることはなかった。しかし、イラン系の家族の所へ行った友人は、(食べられないというほどではないものの決しておいしいとは言えない) 食事のまずさを毎日訴えていた。

- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
 「大きく英語力が上達することを期待するよりも、英語圏での生活とはどのようなものかを感じ取るために行く」くらいの気持ちで研修に参加すると良いと思います。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

ショッピングセンター、移民博物館、海岸、滞在中にシティで開かれる祭など、授業外で楽しめるものが色々あります。体験できるものはすべて体験することをお勧めします。

授業の宿題で、現地の人にインタビューをする必要があったりします。先生からは「最低5人にインタビューしてね。」と言われるかと思いますが、そういうときはあえて10人以上に質問するなど、積極的な姿勢を維持するようにしてみましょう。

英語力にもよりますが、多くの方はマックでハンバーガーを頼むことにさえ苦労すると思います。ですが、数をこなせば慣れます。小銭やお札の扱いもどんどん早くなり1つの文化理解になるので、色々買ってみましょう。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	法学部	学年	2年
参加したプログラム名/協定校名	モナシュ大学春期語学研修 2013		
留学した期間	2013年 2月23日 ~ 3月25日 (約1ヶ月)		

- 1) 留学前の準備について教えてください。

元々短期留学を考えており、海外留学室の説明会に行った際にこの研修プログラムがあることを知り、期間や研修場所も希望に合っていたので参加することを決めました。
- 2) 研修内容や学校について教えてください。

授業の内容や時間もちょうど良かったです。日本よりもより積極的に授業に参加できる形態で、発表も多く自分の考えを相手に伝えるという機会が多かったので良い経験になりました。
- 3) 生活や費用面について教えてください。

ステイ先がスリランカ出身の家庭だったので、食事が辛く、辛い物が苦手であった私にとって初めの方は結構つらかったです。しかし、ステイ先の方が気を使ってくれ、あまり辛いものを用意してくださったり、お味噌汁を買ってきてくださったりと色々配慮してくださったので問題なく過ごすことができました。

気温の変化が大きくて、着いたころは結構暑かったのですが、帰るころは寒くなる日が多かったので気温の変化に対応できるような上着などを持っていくべきだと思いました。
- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

留学は新しい人と出会う絶好のチャンスです。最初は語学力向上の目的で参加しましたが、結果的に私が留学に行ってよかったと思える最大のポイントは多くの人と出会い人脈を広げることができたということです。もちろん英語の勉強にもなりましたが、つたない英語でも様々な人と出会い、交流を持つことができ、その中で多くの経験をし、成長することができたと思います。英語に自信が無い人でも参加することによって英語力以上のものを手に入れられると思います。

裏面有

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

ペンギンツアーやグレートオーシャンツアーなどは本当によかったのでおすすめです。中国人用のツアーは安くて英語でも案内してくれるので費用を安く抑えたいという人は中国人向けのものが十分だと思いました。また、三連休に行ったシドニーもおすすめです。自分たちだけで英語で航空券とホテル、レストランの予約などをするのは本当に難しくドキドキしましたが、良い経験になったと思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部	学年	3
参加したプログラム名／協定校名	モナシュ大学春期語学研修 2013		
留学した期間	2013年 2月23日 ~ 3月25日 (約1ヶ月)		

- 1) 留学前の準備について教えてください。
 研修を知ったのは留学生センターのHPを見て。
- 2) 研修内容や学校について教えてください。
 授業は朝～昼過ぎ、少人数で英語だけ。平日でも授業後は遊べる感じ。
 先生はわりとフレンドリー。
- 3) 生活や費用面について教えてください。
 食に関してはとにかく量と肉の割合が大きい。あとおやつはだいたいフルーツを持ってった。
 家は二階建て以上があまりなくて、広い。英語苦手な外人にも親切だからだいたい聞けばなんとかなる。
- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
 時間と費用があるならとりあえず行って、自分で見てくるといいと思う。
 楽しみ方とかは人それぞれだし。初めてで準備とかよく分かんないって人にはこのモナシュの研修がおすすめかな。周りが日本人の友達だから、いろいろ安心だし。

自由記述欄

オーストラリアに行ったらBBQをしよう。

準備で市場とか行くのもおもしろいかも。肉系統がすごい充実してる。でもレモン一個100円とかありえない値段も・・・。飲み物が高い(500mlとかのジュースは400円位)

観光地はたくさんあるから早めに調べとくといいかも。メルボルンの他にも週末にタスマニアとかシドニーとか行ってた人もいた。

時間にルーズとかよく言うけど、一回祭りの日に電車普通に止まったことがあった。帰れたけど時間かかったし疲れた。

ありがとうございました

モナシユ大学・夏

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部	学年	3 学年
参加したプログラム名／協定校名	Monash College		
留学した期間	2013 年 8 月 30 日 ~ 2013 年 9 月 29 日		

1) 留学前の準備について教えてください。

→ 留学の前に、英語圏の国に一回でもいいから、ホームステイをしてみたいと思ったのですが、ちょうどいい時期に海外留学室からの Monash 大学短期留学の説明会があったので参加してみました。日本語を学ぶときにも、日本語の上達に日本でのホームステイが役立ったため、英語圏の国で生活してみれば英語も上手くなれると思ったので、短期留学への参加を決めたのです。留学前の準備などは、留学のオリエンテーションで教えてくれたとおりにすればいいと思ったので、そのままやっただけです。外国に行くのは何度も経験していたので、普段やってるとおりで荷造りをしました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

→ 授業内容は基本的にクラスによって違うと思いますが、大体クラスのレベルにあわせた Reading, Speaking, Listening, Writing, ディベートなどが混ざっています。私たちのクラスではプレゼン発表もやりましたね。また毎週一回は自習時間があり、宿題などは Facebook でやることにしていました（写真をとって登録したり、100 字ぐらいの Writing をするなど）。雰囲気は全体的に楽しい感じです。単に先生がだんだんと授業を続けるというよりも、みんなで話し合ったり、質問などをするなど、よりコミュニケーションに重点が置かれています。一見難しそうなお内容も先生がわかりやすく説明してくれるし、すごく楽しい授業でした。授業時間はクラスによって午前班と午後班に分かれて、4 時間ぐらいです。

学校の雰囲気は、日本の大学より全体的にテンションが高かったです。ホールも結構騒がしいです（図書館のほうは静かですが）。たまに学校内でパーティもするし、食べ物を分けてもらったこともありました。またいろいろな人種がいて、とても新鮮な感じがします。日本人だけでなく、中国、ブラジル、モンゴル、ベトナム、中東やヨーロッパなどいろんなところできていて、基本的に英語さえできれば、みんな親切に話してくれます。

3) 生活や費用面について教えてください。

→ 生活は文化が違うため、日本とはかなり違ってしています。特に食事という面では一番差が大きかったと思います。朝は大体シリアルや食パンで終わりです。ランチは先日のディナーの残りを弁当に入れて学校で食べる。しかしオーストラリアで一番重要な食事は、間違いなく晩御飯でしょう。家族みんなが揃って食べます。もちろん、人によって違いますが、少なくとも多くのオーストラリア人はそうしているかと思います。また普通に売っている食べ物がドーナッツやサンドイッチなど、健康にはあまりよくないものが多いです。全体的に太りやすいものがたくさんあります。ただ、高いけど寿司を売っている店が考えていた以上に多かったので、健康に気を使いたいのであれば、寿司を選ぶしかありません。

それ以外住居については、あまり違いはないと思いますが、病気で倒れるなど緊急なときを備えてトイレのドアが開められないのと、シャワーが3~5分ぐらいしかできないのは結構きつかったです。水道料金が高いからです。あと道路で信号が変わるのがとても速いです。安全面については、危ないところに行かず、夜に出ないようにするだけでも、かなり安全になると思います（それでもいつも気を使う必要はあります）。

最後にここでの費用については、全体的に高かったです。コンビニで何を買おうとしても、金が結構かかりました。交通費も一回で400円ぐらいで、結構かかります。オーストラリアにいきたいのであったら、費用についてはあまり考えないようにするのがいいのでは?と考えました。

費用計：約 100万円ぐらい

(内訳：航空券??円、保険料??円、授業料??円、寮費??円、食費20万円、交際費10万円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

例：印象に残ったこと、参加して良かったことや残念だったこと、留学前後の気持ちの変化など

ここに来て最も強く感じたものは、とても「新鮮である」ということでした。何事についても、考え方が違う。ホームステイ先で食事のあと、家族みんなで皿洗いをするのを見て、とても新鮮な感じがしました。私の実家ではお母さんが自分しか皿洗いをしてなかったもので、こうやって家事を協力し合うのがとても羨ましく感じられました。

留学をしようとする人々にとっては、英語力(またはそれ以外の言語力)をあげるのも、もちろん大事ではありますが、外国での生活を経験する、ということも、人生で欠けられない経験になるかと思います。自分が行きたい国に行き、直接経験して、何事にも直接当たってみる。留学というのは、そういうものではないでしょうか。

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなど自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



コアラの写真です。

オーストラリアでの団体旅行中に、運よく地面に来たコアラを見たのが忘れられません。普段コアラは木の上でしか生活しないので、とても見るのが大変です。今回は近くで見られたうえ、触ることもできたので、もっとも印象深かったです。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	教育発達科学研究科	学年	M1
参加したプログラム名／協定校名	夏期名大協定校の短期特別プログラム／Monash college		
留学した期間	2013年8月31日 ～2013年9月29日		

1) 留学前の準備について教えてください。

研修のことを知ったのは留学生センターのHPから。その後、全体への留学説明会と個別の留学相談に参加しました。そのときには留学をすることは決まっていたので、時期や期間、場所、予算などについて相談しました。

語学対策は単語帳についているCDを活用して、リスニングをしながら単語を覚えていきました。文法についてはあまり対策をしていませんでした。

申し込み手続きは事前のオリエンテーションや配布物を参考に行いました。特に不便なことはなかったです。

2) 研修内容や学校について教えてください。

最初の1週間は名古屋大学からの参加者のみの授業でした。この期間があったので、むこうでの生活にもスムーズに入っていけたと思います。また他学部から来た学生同士で交流も持てたこともいい経験でした。

残りの3週間はほかの国の学生に交じって授業を受けました。1コマ2時間、1日2コマの授業がありました。月曜日から水曜日は主にスピーキングや文法、木曜日と金曜日はライティングやディスカッションがメインでした。他国からの学生はその後、現地の大学進学を希望しており、IELTSの試験に向けて真剣に授業に取り組んでいました。私たちは約一か月だけの滞在であり、意識の違いを感じることも多々ありました。

授業後はクラスのみなどと食事に行ったり、facebookなどを使って交流をしたりと、仲良くなれました。

3) 生活や費用面について教えてください。

食生活は、朝食は自分で作り、昼食と夕食はホストファミリーに用意してもらいました。健康に気を使ってくれ、食事に関して不満に思うことは一切ありませんでした。

習慣については、ホストファミリーとの生活は家族の中に入っていくので、家族と過ごす時間や休日の過ごし方などわからず、戸惑うこともありました。積極的に聞くことで解決していきました。

安全面については、メルボルンは治安のよく、特に注意することはありませんでした。しかし、帰るが遅くなる時は明るい道を通って帰宅するようにしていました。

費用計：約 65万 円

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 円・・・)

内訳は詳しくはわかりません。しかし事前に留学費用（航空券、学費、ホームステイ代等込）で約55万円を支払いました。そして現地にて10万円ほど使いました。

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

例：印象に残ったこと、参加して良かったことや残念だったこと、留学前後の気持ちの変化など

1か月だけの留学なので、それほどの英語力の向上はできませんでしたが、日常的に英語を使用することで英語に対する苦手意識は改善されたように思います。それ以上に海外で生活することにより、自分に自信が持てるようになったことが大きかったです。見ず知らずの土地で自ら学ぶ経験はぜひ多くの人に経験してほしいと思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	経済学部 経済学科	学年	2年
参加したプログラム名/協定校名	モナシュ大学夏期研修		
留学した期間	2013年8月31日 ~ 2013年9月29日		

1) 留学前の準備について教えてください。

Facebook で知った。外国人と友人と英語で話したりはしたが、その他に準備は特別しなかった。

2) 研修内容や学校について教えてください。

毎日午後半日の授業（2時間のものを2コマ）、先生一人の少人数制授業、ネイティブでない学生が英語を学ぶ語学学校で英語を学んだ。中国人、モンゴル人の友人ができた。しかしオーストラリアの学生やネイティブの学生と話す機会がほとんどなかったため、せっかくだったのでオーストラリアの学生と話す機会がほしかった。また、ホームステイ先がネイティブの家ではなかったかと思っただけほど英会話能力が伸びなかった。

3) 生活や費用面について教えてください。

薬は全て日本から持って行った。水は水道水も飲めるほど清潔。食べ物、飲み物の物価が高い。日差しが強いのでサングラスを持って行った方がよい。

費用計：約 65万 円
 （内訳：今回のバック（航空券・ホームステイ代・授業料など）50万 円、保険料 1万2千 円、交際費 3万 円、お土産・観光代 7万円 その他（スーツケースなどの事前準備や携帯電話など）5万円 等・・・）

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

短期研修だったため、語学力の伸びというのは正直あまりなかった。しゃべれるようになってきたと感じたのが最後の一週間の頃でやっとしゃべれるようになったのにもう帰らなければいけないのかといった感じだった。事前に説明もあったが語学力アップのためであれば日本にいるうちに英会話教室に通うなどして、現地では実践するくらいのスタンスで行くべきだと思う。しかし、吸収したものが何もなかったということはなく、日本を離れ異文化の中で1か月過ごすという経験は自分にとって貴重な経験となったし、海外の学びへの意欲が旺盛な学生と触れ合えたことは自分の学びへの姿勢を見直すよいきっかけになった。留学先での経験は自分が日本で想像していたものより良いものだった。まだ一度も海外に行ったことのない人は特に一度留学に行ってみるといいと思う。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	情報文化学部	学年	3年
参加したプログラム名/協定校名	名古屋大学 夏季語学研修 モナシュ大学		
留学した期間	2013年 8月 31日 ~ 2013年 9月 29日		

- 1) 留学前の準備について教えてください。
 - ・海外留学室を訪問し、モナシュ大学夏季語学研修の説明会に参加した
 - ・英語の対策は主に TOEIC の勉強や留学のための英会話の本を買って勉強した
 - ・申し込み後、出発までに学内で何度かオリエンテーションがあった。

- 2) 研修内容や学校について教えてください。
 - ・1週間目は名古屋大学の学生のためのクラスで授業を行った
 - ・2週間目以降はレベル別のクラスに分かれて午前または午後からのクラスに参加した
 - ・月～水は日常会話のクラス、木～金はアカデミック英語のクラスだった
 - ・授業は英語で自分の意見を述べるような会話中心に構成されていた
 - ・最後の週に「オーストラリアについて」というプレゼンを行った
 - ・研修校には外国人留学生（特に中国人留学生）が多く学んでいた
 - ・研修校の施設はラウンジなどとても充実したものだだった

- 3) 生活や費用面について教えてください。
 - ・クレジットカードは持って行ったほうがいいと感じた
 - ・携帯電話は現地でプリペイド携帯電話を買うといいと思う
 - ・日本と違い、とにかく自分の意見を伝えることが求められる
 - ・現地は水が貴重でシャワー時間について厳しく制限されていた
 - ・現地の治安は感じた限り比較的良好だと思った
 - ・ホストファミリーはとても親身に接してくれとても良かった
 - ・自分が行ったとき、現地は日本でいう3月くらいの気温だったため、朝晩は非常に寒かった
 - ・現地は緑が非常に多く、とても過ごしやすい環境だった

- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
 - ・とにかく目的をもって事前準備をしっかり行うことが大切だと感じた、事前準備をどうするかで、現地での生活の充実度がとても変わると思う
 - ・実際に留学に行ってみて自分の英語力を改めて確認することができ、これから更に英語力を伸ばすための強いモチベーションを得ることができた
 - ・現地のホストファミリーにとっても親身にしてもらい、国は違っても心を通じ合わせることができると感じたことが印象的だった
 - ・名大の他学部の友達や国内の他大学の方とも触れ合え貴重な体験ができた。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学研究科 エネルギー理工学専攻	学年	1
参加したプログラム名／協定校名	名古屋大学短期海外研修 オーストラリア モナシュ大学		
留学した期間	2013年 9月 1日 ~ 2013年 9月 28日		

1) 留学前の準備について教えてください。

留学のことは体験談の説明会で知りました。

語学対策や準備は荷造り以外ほとんどできませんでした。

2) 研修内容や学校について教えてください。

授業は半日授業で分以外全員外国人でした。とてもよくしゃべる友達ばかりですぐに打ち解けて毎日楽しく過ごすことが出来ました。向こうで日本語を勉強している学生とも知り合えました。

3) 生活や費用面について教えてください。

費用計：約 60万 円(航空券、保険料、授業料、寮費、食費で50万円)

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 10万 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

参加して残念だったことはありません。

全く違う考え方を持った学生や、ユニークな先生とたくさん話せて最高の思い出ができたと思っています。

ホームステイファミリーも優しく、時には厳しく生活のことやオーストラリアの様々なことを教えてくれました。

今ではもっと滞在していたかったと思っています。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	理学部生命理学科	学年	3
参加したプログラム名／協定校名	モナシュ大学		
留学した期間	2103年8月31日 ~ 2013年9月29日		

1) 留学前の準備について教えてください。

友人が参加したことがあったため、持ち物などを確認できました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

1週目は名大生のみでの授業、2週目からはレベル別での授業。

2週目からは午前だけか午後だけかの授業。

クラスに日本人がいなかったので、いろいろな出身国の学生と交流できました。

3) 生活や費用面について教えてください。

思っていたより安全でした。ただ暗くなると夜道は怖かったです。

費用計：約 55万 円

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

ホストファミリーと仲良くなれたことが一番の思い出です。留学前は不安で不安で仕方がありませんでしたが、今では英語が以前より好きになりました。めったにできない体験ができて本当によかったです。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部	学年	2年
参加したプログラム名/協定校名	モナシュ大学		
留学した期間	2013年 8月 31日 ~ 2013年 9月 29日		

- 1) 留学前の準備について教えてください。

海外留学室のメーリスに登録して知った。

- 2) 研修内容や学校について教えてください。

第一週目は名大用にカスタマイズされた授業で、第二週目からは13時~17時15分までの授業でした。12人クラスで日本人は4人でした。

- 3) 生活や費用面について教えてください。

朝はパンやシリアルを自分で用意し、昼は前日の夜の残り物か、自分でサンドウィッチを作って持っていきました。夜は、主食はなく、スープとメインの肉料理、それに野菜（特に温野菜）で、たまにデザートをマザーが作ってくれました。

9月だったからか、とても寒く、マフラーとコートは必須でした。また、わたしは寒くてもオーストラリア人は寒くないのか、自分とホームステイ先の家族との体感温度に差があるように感じました。

費用計：約 70万 円 内訳はわかりませんが、お小遣いは10万でした。

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 円・・・)

- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

とても良い経験になりました。リスニングはあがったような気がするし、何より英語を話す抵抗が全くなくなりました。それに、自分のことは自分でしなきゃいけないし、日本とは違う環境での生活は自分を大きく成長させてくれるはずです。

語学の勉強という面では、ホストマザーが每晚わたしの英語で書いた日記を添削してくれたので、英語独特のニュアンスを学ぶいい機会になったかなとは思いますが、まだまだ不十分なので、行っただけにならないよう、短期留学は留学後こそ大事だと思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	文学部	学年	二年
参加したプログラム名／協定校名	モナシュ大学		
留学した期間	2013年 8月 30日 ~ 2013年 9月 29日		

1) 留学前の準備について教えてください。

海外留学室からのMLで研修があることを知りました。ずっと留学はしたいと思っていたので申し込みました。出発前には単語と日常で使う表現を中心に勉強しました。

2) 研修内容や学校について教えてください。

一コマ二時間の授業が一日二コマ。話すことを多く取り入れた授業でとても楽しいです。私は初めのクラスがほとんど日本人だったのですが、先生に相談したら他のクラスに変わってもらえました。みんな頑張って英語を話そうとするので、休憩時間も日本人同士だけではなく他の国の生徒と話していました。

3) 生活や費用面について教えてください。

どれくらい服が必要かわからなくてたくさん持っていきましたが、着なかったものも多く、上下三着ずつぐらいあれば十分だったかなと思いました。洗濯は自分でやっていて毎日できるわけではなかったため、下着は多めに持っていてよかったです。水道、電気、インターネットなどが日本よりも高いようだったので節水や節電には気を付けました。

費用計：約 70万 円

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 10万 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

英語を学ぶ様々な国の人たちに囲まれて良い刺激になりました。また、モナシュ大学の日本語を学ぶ学生と交流しましたが、とても上手で驚いたし、自分も頑張ろうと思えました。英語のスキルに飛躍的な伸びはありませんが、頑張ろうという気持ちや勉強の仕方などの収穫はあったと思います。今回だけではなくまた留学したいという気持ちにもなりました。また、名大生や日本のほかの大学、中国人、ブラジル人の友達、ホストファミリーなどたくさん新しい交流が増えたのもよかったなと思います。

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	理学部生命理学科	学年	3
参加したプログラム名/協定校名	モナシュ大学 短期留学		
留学した期間	2013年 8月 31日 ~ 2013年 9月 29日		

- 1) 留学前の準備について教えてください。
 友達から勧められたのがきっかけです。最初は軽い気持ちでしたが、手続きして、期限が迫って行くうちに本気で勉強するようになりました。主に TED を活用しました。
- 2) 研修内容や学校について教えてください。
 モナシュ大学は、午前または午後の4時間程度が週5日続きます。主に討論やプレゼンも行い、宿題も facebook などをつかった楽しいものでした。(数百字程度の作文が主流でした。)
- 3) 生活や費用面について教えてください。
 ホームステイだったので、大体はホームステイ先のファミリーにやってもらえました。生活環境は日本とは違うので慣れるのには1,2週間かかりました。

費用計: 約 <u>50万+15万</u> 円(15万は観光費)

- 4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。
 行く前はかなり怖くて、行って何ができるんだろうとか英語通じないかなとか考えたりもして、友達に何度も相談したんですけど、実際行って見て、今は行ってよかったと思います。英語に抵抗もなくなったし、今度は長期で海外に行きたい気持ちばかりです。もし行こうと思うなら、迷う前に行動し、悔いの残らない留学にしてください。

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

今はホームステイファミリーとも少しずつ連絡を取っていて、海外の友達とも facebook でチャットしたりしています。外国にいる友達と普通に話せているというのが、自分にとっては本当にうれしいことなんだと実感しています笑

短期留学についてのアンケート調査

学部・研究科	工学部 化学生物工学科	学年	2
参加したプログラム名/協定校名	豪モナシュ大学サマープログラム		
留学した期間	2013年 8月 31日 ~ 2013年 9月 29日		

1) 留学前の準備について教えてください。

海外留学室のHP。特に準備はしなかった。

2) 研修内容や学校について教えてください。

週5日、1日4時間30分。私の場合は、1時から授業開始。

海外の留学生と一緒に授業をうけるため、仲良くなってでかけたりした。

3) 生活や費用面について教えてください。

まだ寒かったので、基本セーターやトレーナーを着た。朝晩は冷えるので、折りたためるダウンを持っていると便利だった。マフラーも必要。日本の3月くらい。

費用計：約 60万 円

(内訳：航空券 円、保険料 円、授業料 円、寮費 円、食費 円、交際費 円・・・)

4) 留学を終えて感じること、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

本当に楽しかったです。毎日自分が成長するよう感じられました。留学直前は不安になったりしたけど、実際行ってみるとなんとかなります。メルボルンの人はみんないい人なので心配ないです。今回行ってみてとてもいい思い出になったので、もっといろんなところへ留学してみたいと思いました。

以上

